

Library News



大山崎中学校図書館
令和8年 3月

卒業おめでとうございます

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

この3年間で何冊くらい本を読んだでしょうか？本はあまり読まなかったけれど図書室にはよく行ったという人はいるでしょうか？中学生生活のたくさんの思い出の中に本や図書室にまつわることが一つでもあればうれしいです。新しい学校でもぜひ図書室をのぞいてみてください。

3月の図書室の予定

3月は返却期限が通常と異なりますのでご注意ください。

特に3年生は本を借りたまま卒業することのないようお願いします。

3年生 貸出終了 → 3月3日（火）

返却期限 → 3月5日（木） 厳守

1、2年生 一斉返却 → 3月12日（木）

これまでに借りていた全ての本を返却してください。

全冊返却した人のみ

5冊貸出 → 3月12～19日

（こちらの返却は4月）



新着本から

『卒業 桜舞う春に、また君と』 汐見夏衛 他 スターツ出版

汐見夏衛、丸井とまと、ら人気作家や小説投稿サイトからデビューしてきた新人作家 4 人が贈る、卒業をテーマにした短編集。どの話も甘酸っぱくて、切ない青春の一コマが鮮やかに切り取られています。あなたはどの作品が一番好きになるかな？



『本を読んだことがない 32 歳がはじめて本を読む』 かまど・みくしん 大和書房

読書が苦手これまで本というものをちゃんと読んだことがない 32 歳のみくしんに友人のかまどは『走れメロス』と一緒に音読してみることを提案します。みくしんは一文ごとに感心したり、泣いたり、文句を言ったり、はてはティッシュをちぎって時間軸を作ったりと、驚きのリアクションを見せてくれます。読書ってこんなに自由で楽しいものだったんですね。読書が好きな人も嫌いな人もお笑い読書体験をのぞいてみてください。



『今日も誰かの誕生日』 二宮敦人 光村図書

あなたは誕生日をどんな風にすごしたいですか？一日違いの誕生日なのに学年が上になってしまったいとこへの複雑な思いを抱える中学生、誕生日に自分だけで自分の身体を祝いたい小学生、急な腹痛に見舞われて散々な目にあう青年など、様々な人の誕生日の一日を描いた短編集。いろいろなお祝いの仕方に自分の誕生日への思いも変わってくるかも……



『闇に願いを』 クリスティーナ・スートンヴァット 静山社

罪人であった母から生まれたポンは刑務所の中で暮らしています。13 歳になるまで塀の外に出ることは許されません。そんなある日偶然が重なってポンは脱獄に成功しますが、外の世界にはポンが思い描いていた自由な暮らしはありませんでした。行く当てもなくさまよいポンはある寺にたどり着き、そこで僧侶のチャム師と運命の出会いを果たします。一方、刑務所長の娘ノックは父のために脱獄犯のポンを捕まえることに執念を燃やし、ポンを追いますが……10 代がえらぶ海外文学大賞特別賞受賞作。作品の持つ力にぐいぐい引き込まれます。



司書のひとごと 昨日の本棚から 『OSO18 を追え』 藤本靖 文藝春秋

昨年は全国でクマによる被害が深刻化して多くの人命が奪われました。本書はそれよりも前、2023 年以前に北海道で牛を襲って食べていたヒグマ、通称 OSO18 をとらえるために結成された対策班のリーダーの手記です。小さな手掛かりから OSO を追うチームの執念、OSO の不思議な習性、NHK 取材クルーとの確執など、ドキドキ、ハラハラの展開でページをめくる手がとまりませんでした。結局 OSO は縄張りから遠く離れた場所で、OSO とも認識されないまま、射殺され、食用にされるという予想外の結末を迎えることもまたノンフィクションらしいところでした。なぜ OSO が牛を食べるようになったか、は昨年のクマ被害の増加と根っこは同じ。そろそろクマが冬眠から目覚める頃です。私たちはもっと自然から学ばなければなりません。

